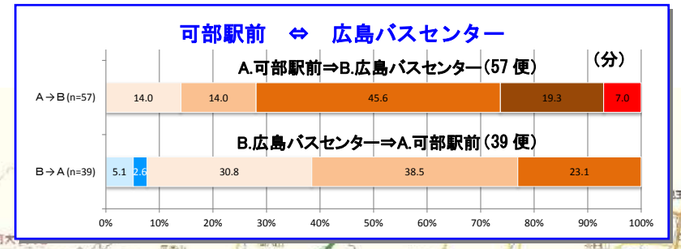
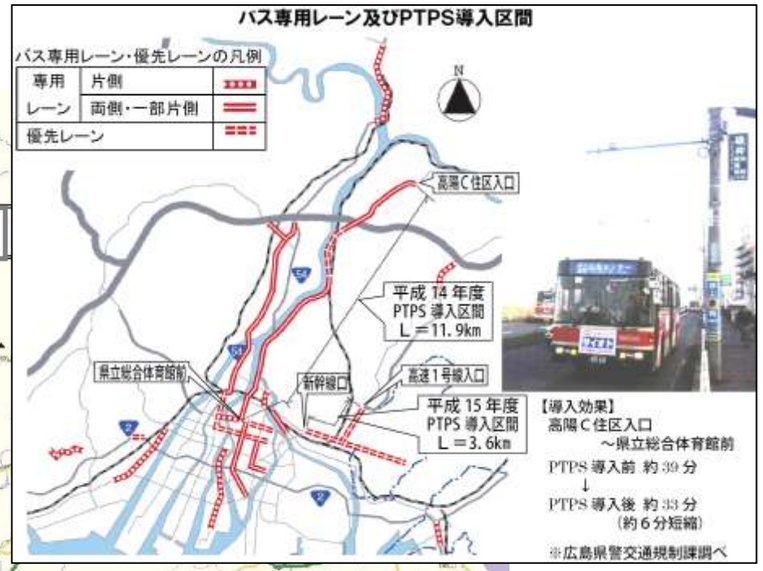
(2) 定時性の確保状況

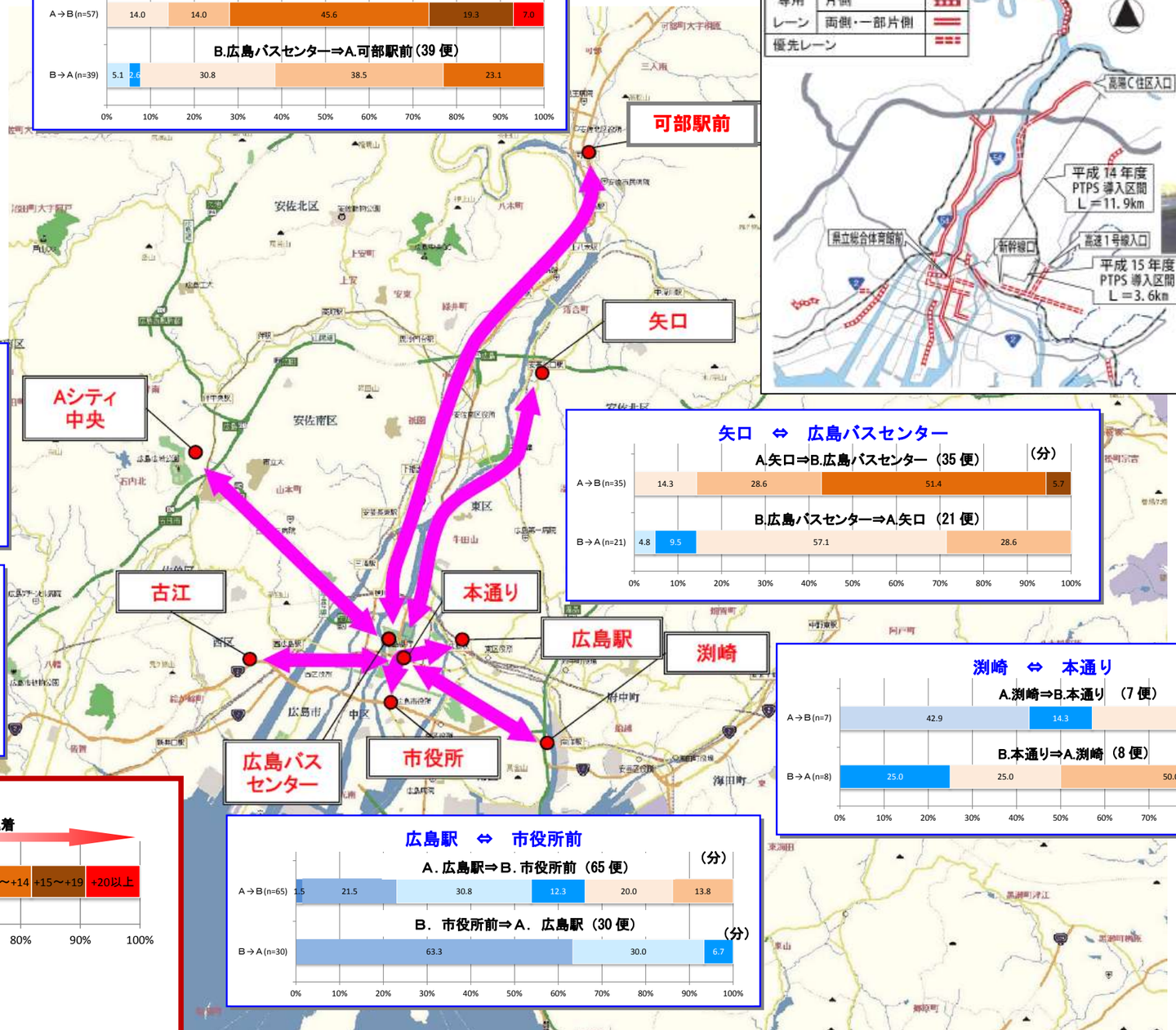
- **<u>北部方面が、定時性が十分でない傾向がある。</u>**
- PTPS やバス専用レーンを導入しているにもかかわらず、通勤・通学時間帯における「可部駅前⇒広島バスセンター」の約 70%、「矢口⇒広島バスセンター」の約 60%の到着が約 10 分以上遅れる状況にあるが、これはバス事業者によって、ピーク時もオフピーク時と同様の所要時間でダイヤを設定（可部駅前・広島バスセンター間の平日朝ピーク時間帯で最大 14 分の差）しているためである。
- 定時性が保たれていないことの要因としては、デルタ流出入部での旅行速度の低下が原因と考えられる。

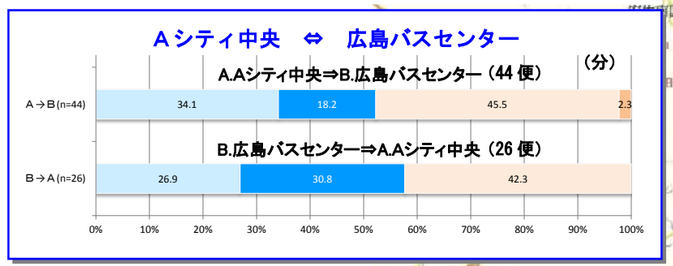
調査概要

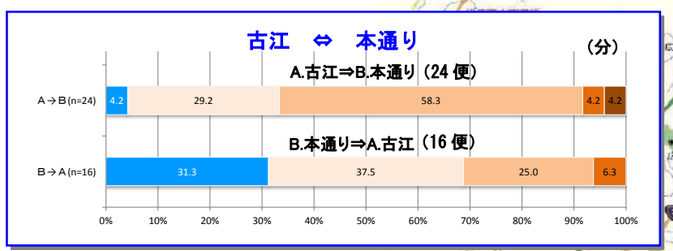
調査方法	各指定路線の起点及び終点バス停で、目視により出発・到着時間・ナンバー・系統番号を観測し定時性を把握し、時刻表に対する定時性を把握	
調査日時	H26.1.21(火)　7～9 時、18～20 時　晴	
調査対象便数	朝：古江　⇒　本通り	24 便
	夕：本通り　⇒　古江	16 便
	朝：渕崎　⇒　本通り	7 便
	夕：本通り　⇒　渕崎	8 便
	朝：可部駅前　⇒　広島バスセンター	57 便
	夕：広島バスセンター　⇒　可部駅前	39 便
	朝：矢口　⇒　広島バスセンター	35 便
	夕：広島バスセンター　⇒　矢口	21 便
	朝：広島駅　⇒　市役所前	65 便
	夕：市役所前　⇒　広島駅	30 便
	朝：Ａシティ中央　⇒　広島バスセンター	44 便
	夕：広島バスセンター　⇒　Ａシティ中央	26 便

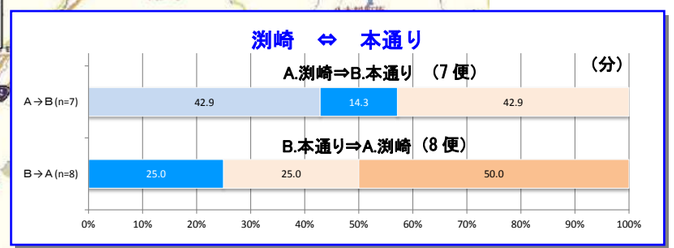


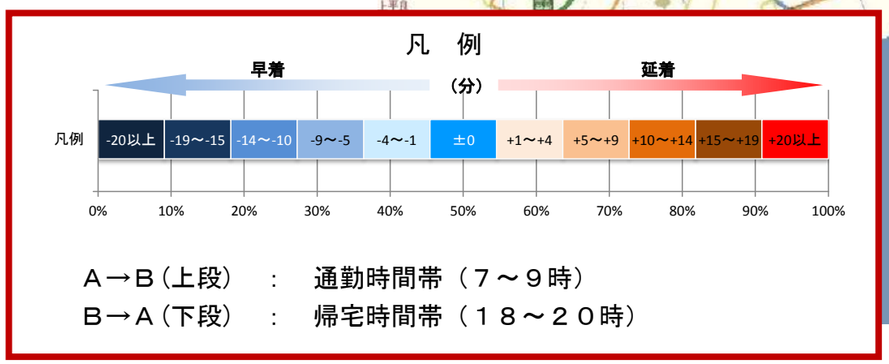












Ａ→Ｂ（上段）　：　通勤時間帯（７～９時）
Ｂ→Ａ（下段）　：　帰宅時間帯（１８～２０時）

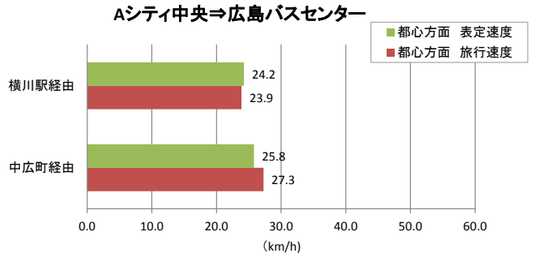
資料）広島市道路交通局

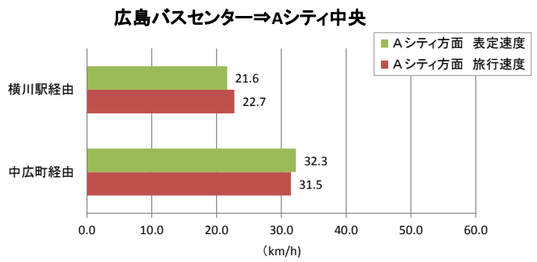
(3) 速達性の確保状況

・　表定速度に対し、旅行速度がかなり落ちている区間があり、速達性に課題がある。

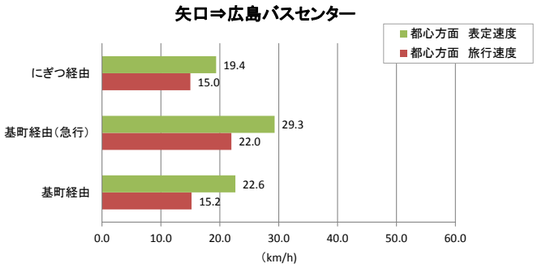
郊外部・都心間の速達性

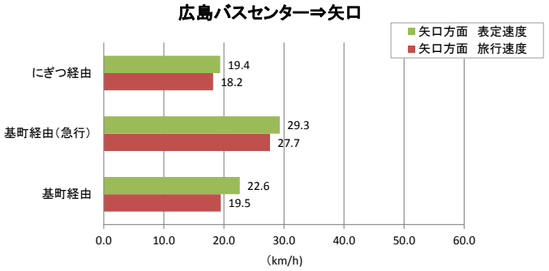
Ａシティ中央　⇔　広島バスセンター



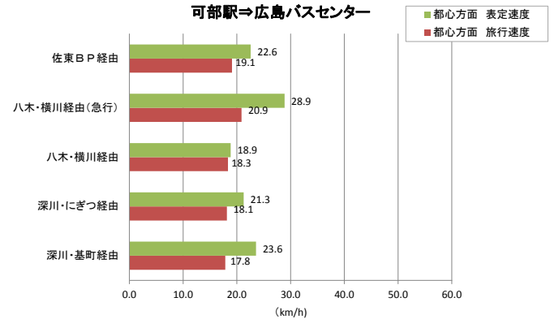


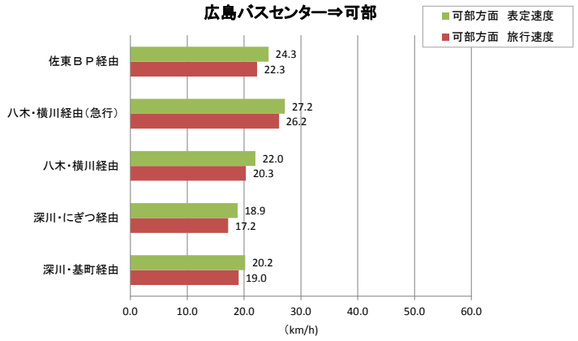
矢口　⇔　広島バスセンター



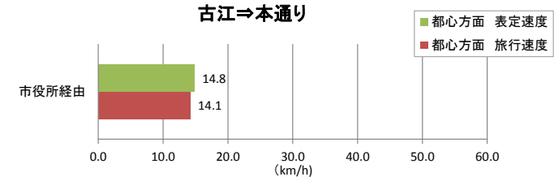


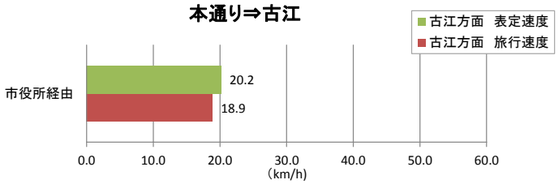
可部駅前　⇔　広島バスセンター





古江　⇔　本通り

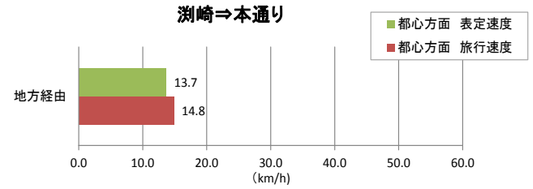


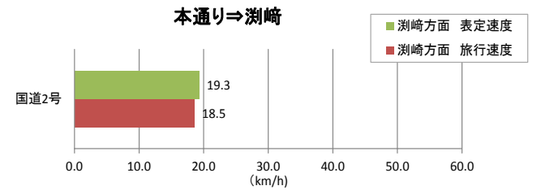


表定速度と旅行速度の比較

都心周辺部・都心間の速達性（参考）

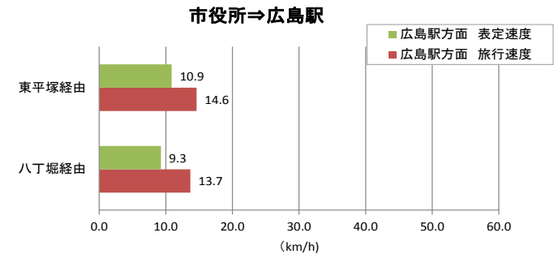
渕崎　⇔　本通り

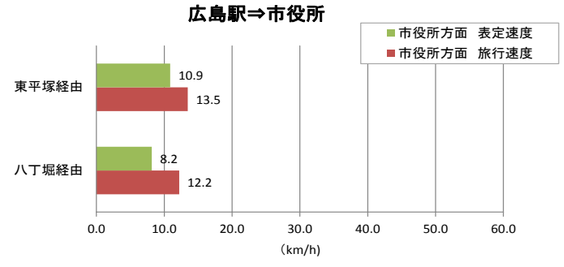




都心内の速達性（参考）

市役所　⇔　広島駅





資料）広島市道路交通局
※表定速度：時刻表より算出
　旅行速度：定時性調査より算出